

令和3年6月 岩手県教育委員会定例会 会議録

- 1 開催日時
開会 令和3年6月21日(月)午後1時30分
閉会 令和3年6月21日(月)午後2時50分
- 2 開催場所
県庁10階 教育委員室
- 3 教育長及び出席委員
佐藤 博 教育長
小平 忠孝 委員
島山 将樹 委員
新妻 二男 委員
宇部 容子 委員
小野寺 明美 委員
- 4 説明等のため出席した職員
佐藤教育局長、高橋教育次長兼学校教育室長
渡辺教育企画室長兼教育企画推進監、千葉予算財務課長、三浦義務教育課長、八重樫参事兼教職員課総括課長、木村県立学校人事課長、藤原生涯学習文化財課総括課長、岩淵文化財課長
教育企画室：菊池主任主査、新田主事(記録)
- 5 会議の概要
 - 第1 会期決定の件
本日一日と決定
 - 第2 事務報告1 令和3年5月県議会臨時会の概要について(教育企画室)
別添事務報告により説明

宇部委員：スクールサポートスタッフの任期についてですが、感染の終息によるかと思いますが、今年度内まで雇用を拡張するというので、大変ありがたいと思っております。このような状況でするので、ぜひ今後とも状況に応じた対応をよろしくお願いいたします。
 - 第3 議案第5号 岩手県立中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則(学校教育室)
別添議案により説明

小野寺委員：現在35人学級への移行途中でありますけれども、現場の声として、35人になったメリットや課題などは挙がってきているのでしょうか。

三浦義務教育課長：人数が各学級5人減少したことで、よりきめ細かく一人ひとりを見ることが出来るようになってきたと教職員から伺っております。また、配慮の必要な生徒に対しても、以前より細やかなサポートが出来るようになってきていると報告を受けております。加えて、教室の面積について、物理的にやや狭い印象があったようですが、35人学級にしたことで、スペース的にも少し余裕が生まれてきていると伺っております。

原案どおり決定
 - 第4 議案第6号 岩手県生涯学習審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて(生涯学習文化財課)
別添議案により説明

小平委員：各委員の任命については、現職者の辞任や任期満了に伴って行うものであると認識していますが、今回横澤現委員の任期満了前に笠水上氏を任命することとなった経緯は何ですか。

藤原生涯学習文化財課総括課長：委員の辞職につきましては、定年退職や役員の辞任等が主な理由となっております。ただし、盛岡青松支援学校の横澤委員につきましては、特別支援学校の校長会の役職の中で、同校校長を本審議会委員に充てることになっており、今回の定期人事異動によって、横澤委員が他の学校へ異動されたことから、今回辞任の申し出があったものでございます。

原案どおり決定

第5 議案第7号 岩手県社会教育委員の委嘱及び解嘱に関し議決を求めることについて（生涯学習文化財課）

別添議案により説明

原案どおり決定

第6 議案第8号 岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて（生涯学習文化財課）

別添議案により説明

畠山委員：公募について、いつ頃から開始されるのか、どのような形で行われるものなのか教えてください。また、公募により決定された委員の方の任期周期がどのような形になるのかも併せて教えてください。また、公募により決定された委員の方の任期周期がどのような形になるのかも併せて教えてください。

岩淵文化財課長：公募委員につきましては、出来るだけ広く県内に周知したいと考えております。現時点では、県の広報誌「いわてグラフ」に掲載してお知らせする予定です。公募を行うための準備につきましては、すぐに着手しなければならないと考えておりました。現在、計画等策定のため協議を重ねている段階でございます。公募委員の任期につきましては、他の委員とは任期がずれておりました。令和3年12月23日から2年間を予定しております。

畠山委員：公募をする主旨等があると思いますので、ぜひ広く周知していただいて、より良い委員構成になるよう努めていただければと思います。

原案どおり決定

議案第9号については、非公開とする議決がなされた。

第7 議案第9号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（教職員課）

別添議案により説明

原案どおり決定

〔減給5月 生徒に対するセクシュアル・ハラスメント行為 58歳 男性 県立高等学校 教諭 盛岡教育事務所管内〕

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。